

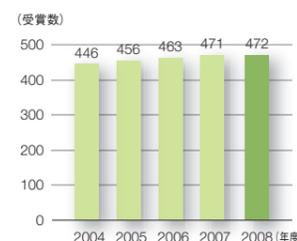
環境に配慮した製品・サービスの提供と、地域・社会貢献活動

オカムラグループは、環境に配慮した製品・サービスを提供することで、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また、地域と共存し、社会とともに発展する企業をめざし、地域住民との対話・交流、従業員参加型の社会貢献を展開しています。

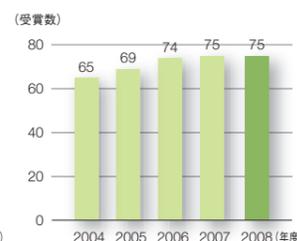
オカムラグループの製品開発

オカムラグループは、誰もが豊かさを実感でき、次世代へよりよい環境を引き継げるよう、モノづくりにこだわり、上質なデザインの実現を目指し、「クオリティデザイン」、「エコデザイン」、「ユニバーサルデザイン」の3つの観点から製品開発をしています。このような開発に対する姿勢は国内外で高く評価され、これまでに数々の表彰を受けています。

グッドデザイン賞受賞数(累計)



ロングライフデザイン賞受賞数(累計)



アフターサービスで製品のロングライフ化をサポート

「消費・廃棄」から「ロングライフ使用」へ。こうした社会的要請に的確に対応するため、オカムラの子会社であるオカムラサポートアンドサービスは、保守・点検サービスのプロとして、①オフィス家具・什器の修理、②パーツ交換、③クリーニング、④可動製品の保守・点検などの製品のロングライフ化に貢献する業務を展開しています。2008年度の保守・メンテナンスサービス売上高は約13.3億円となりました。

環境情報の開示とコミュニケーション

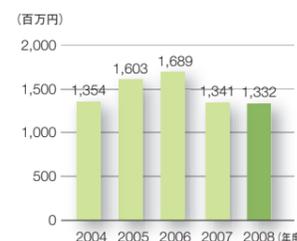
■製品の環境情報の開示

営業支店や販売店様に寄せられる「製品の環境影響調査」に関する資料のご請求に対し、製品の原材料、接着剤、塗料などに関するデータを提供し、環境への配慮をご確認いただいています。2008年度最も多かったお問い合わせ内容は、製品の使用材料のF☆☆☆☆証明に関係するものでした。

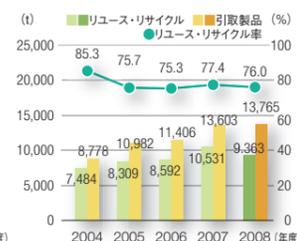
報告書／ウェブサイトを通じた環境コミュニケーション

媒体名	媒体の形態	内容	発行/公開時期	情報の住み分け
CSR Report 2008	冊子/オカムラウェブサイト(PDF)	CSR・環境情報等	2008年6月	より重要な事項は冊子で報告
CSR Report 2008環境データ編	オカムラウェブサイト(PDF)	環境情報(データ詳細)、地域貢献活動等	2008年7月	環境データ、社会性データを集約
CSR Report 2008環境編ダイジェスト	パンフレット	オカムラの環境・社会活動の概要	2008年7月	活動全般をひと目で分かりやすく紹介
エコ商品ねっと	GPNが運営するウェブサイト	環境配慮製品の紹介	(随時-GPNによる)	2009年3月時点で134シリーズ登録
グリーン購入法特定調達物品情報提供システム	環境省ウェブサイト	グリーン購入法適合製品の紹介	(随時-環境省による)	2009年3月時点で318シリーズ登録

保守・メンテナンスサービス売上高



使用済み製品・梱包材のリユース・リサイクル



TOPICS

優れた製品サービスの提供に貢献する環境活動を表彰

オカムラは2003年度より、優れた環境活動を表彰する制度を実施し、社員のモチベーションアップと、環境に配慮した製品・サービスの質の向上を図っています。表彰の対象は以下の3区分です。

- サイト表彰: 環境マネジメント単位ごとの活動表彰
- 部門表彰: 環境マネジメント単位を構成する各部門の活動評価
- プロジェクト・個人などその他顕著な活動評価

2008年度環境活動表彰実績

種類	表彰サイト・部門・プロジェクト	活動内容
サイト表彰	つくば	パネル接着工程改善によるエネルギー生産性向上
	山陽オカムラ	コンプレッサ冷却水の再利用およびPRTR対象物質削減
	オカムラ物流	幹線輸送のモーダルシフトの推進
部門表彰	販売サイト 西日本支社	「エコテック2007」への出展
	オカムラサポートアンドサービス デリバリーセンター	社内メール用封筒新規購入量削減
プロジェクト表彰	廃棄物プロジェクトチーム	廃棄物の適正処理のための運用方法改善

■CSR Report／ウェブサイトを通じた双方向のコミュニケーション

オカムラでは、さまざまな媒体を通じて環境情報を発信しています。またそれらに寄せられた、お客様、企業やNGOの環境・CSR専門の方々および審査を含むさまざまな皆様からのご意見・ご提案を、よりよい情報発信に役立てています。2008年度の環境情報の公開状況は下表の通りです。

■各種イベントで環境への取り組みをご紹介します

2008年度は新製品発表会をはじめとする各種イベントで、オカムラグループの環境への取り組みをご紹介します。また

そごでいただいた様々なご意見・ご感想は関連部門へとフィードバックし、製品開発や環境活動のレベルアップに役立てています。

環境への取り組みを紹介した主なイベント

開催時期	展示会名	開催場所	内容
2008年6月	2008中部どてらい市	名古屋国際展示場	環境配慮型製品の展示
2008年9月	国際総合物流展2008	東京ビッグサイト	環境への取り組みをパネルで展示・説明
2008年11月	オカムラ「新製品発表会」	東京・赤坂 オカムラ ガーデンコート ショールーム	オカムラの考える「オフィスのエコ」の展示・説明
2008年12月	オカムラ「新製品展示会」	大阪ショールーム	オカムラの考える「オフィスのエコ」の展示・説明
2009年2月	第43回 2009スーパーマーケット・トレードショー	東京ビッグサイト	環境への取り組みをパネルで展示・説明
2009年3月	第9回 JAPAN ドラッグストアショー	幕張メッセ	環境配慮型製品の展示

地域・社会貢献活動の実施

オカムラグループは、環境方針の一つに「社会性活動の充実」を掲げ、事業所の近隣住民の方々や、子供たち、行政機関や他企業など、より多くの方々との積極的な対話を通じ、社会と

の共生を図っています。2008年度の地域・社会貢献活動の実施状況は下表の通りです。

活動	実施概要	実施事業所・拠点(回数・人数順)	回数・人数
地域行事への参加	地域清掃活動、地域イベント等への参加	中井事業所、販売部門、エヌエスオカムラ、追浜事業所、高島事業所、山陽オカムラ	25(回)
工場見学受け入れ	一般の方を対象に工場ツアーと工場概要紹介	追浜事業所、つくば事業所、中井事業所、高島事業所、エヌエスオカムラ、オカムラ物流、山陽オカムラ、関西岡村製作所	689(名)
社会科見学受け入れ	小学生・中学生・高校生を対象に工場ツアーと環境教育	追浜事業所、関西岡村製作所、つくば事業所、高島事業所	1,165(名)
インターンシップ受け入れ	高校生・大学生に、仕事体験の場を提供	販売部門、開発部門、追浜事業所、山陽オカムラ	58(名)
ステークホルダーへの環境教育・啓発	販売店様、お客様をはじめとする方々へ、環境問題とオカムラの取り組みをご説明	販売部門、開発部門、追浜事業所、高島事業所、山陽オカムラ、つくば事業所、富士事業所、御殿場事業所	803(名)

環境教育の充実

■環境意識向上を図るための環境教育

全ての従業員が環境保全活動を理解し、立場に応じた自らの役割を自覚し、目標に向かって必要な手順で行動できることを目指して、環境教育を実施しています。環境教育は、新入社員・キャリア入社者を対象とする必修教育と、各部門がISO14001に

基づき策定した部門教育に分けられています。必修教育では、環境問題への基礎的な考え方について、部門教育ではISO14001に基づき各事業所・部門で策定した教育訓練計画に沿って、環境教育を実施しています。

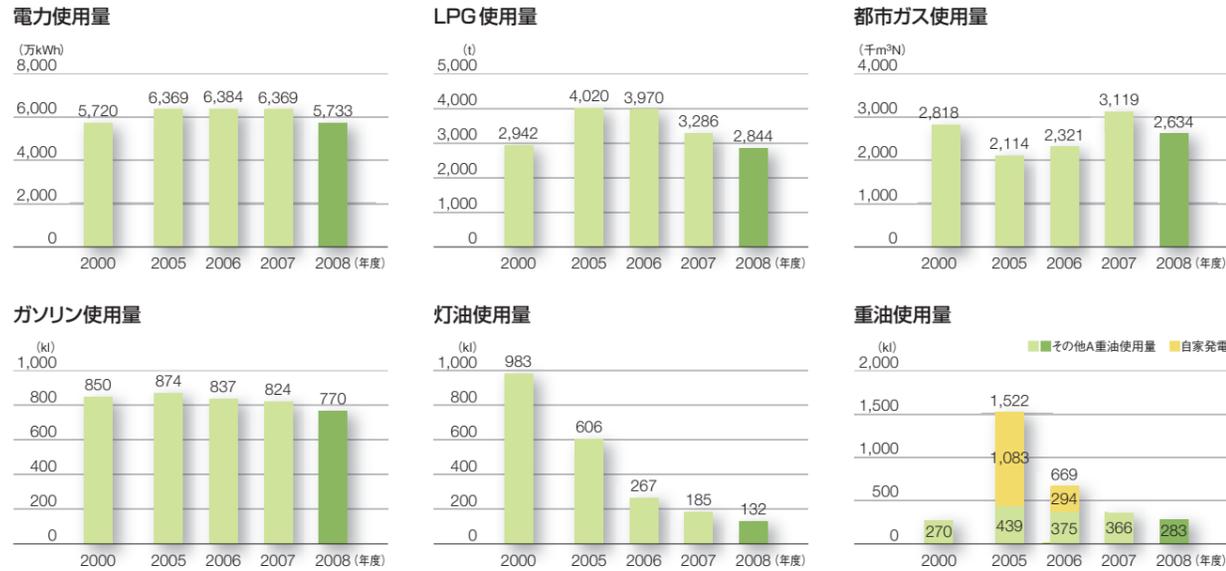
オカムラの環境教育

種別	対象	名称	内容
必修教育	新入社員 キャリア入社者	新入社員研修	● 環境問題 ● EMS導入編 企業活動と環境負荷
		新入社員フォローアップ研修	● EMS活動実践編
		キャリア入社者研修	● 環境問題 ● EMS導入編 企業活動と環境負荷
部門教育 ISO14001による	全従業員	一般教育	● 環境方針や全社の環境目的・目標・実施計画 ● グリーンオフィス活動
		専門教育	● 各部門ごとの環境目的・目標・実施計画 ● 著しい環境側面に応じた教育訓練
		管理者教育	● 管理者としての環境マネジメントシステムなど
環境啓発	全従業員	情報発信	● CSRレポート/環境データ編/環境ダイジェスト発行 ● ウェブサイトの環境コンテンツ
			● 社内報に環境ページを連載 ● 各地域主催の環境関連展示会出展

環境データ 2008年度

「持続可能な社会の構築」に貢献するため、目標の達成に向けて、グループが一体となってCO₂排出量、化学物質の投入・排出量削減に努めます。

各種エネルギーの使用状況



※上記6つのグラフの報告の範囲は7ページで示しています(海外を除く)。

化学物質の管理

PRTR届出物質の排出量(2008年度)

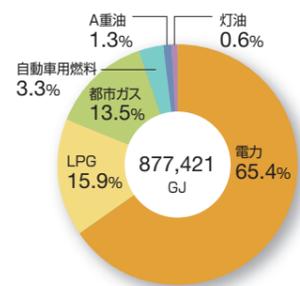
種別	政令番号	CAS番号	物質名	別名	取扱量(kg)	排出量(kg)			移動量(kg)	
						大気への排出	公共水域への排出	下水道への移動	その他の移動	
1種	1	—	亜鉛の水溶性化合物	—	3,503	0	115	54	1,312	
1種	40	100-41-4	エチルベンゼン	—	19,648	17,734	0	0	980	
1種	63	1330-20-7	キシレン	—	58,530	52,523	0	0	2,994	
1種	101	111-15-9	酢酸 2-エトキシエチル	エチルグリコールモノエチルエーテルアセテート	1,692	1,606	0	0	86	
1種	145	75-09-02	ジクロロメタン	塩化メチレン	8,721	8,295	0	0	426	
1種	224	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン	—	7,780	6,741	0	0	399	
1種	227	108-88-3	トルエン	—	48,548	45,790	0	0	2,517	
合計					148,422	132,689	115	54	8,714	

※報告の範囲は7ページで示しています(海外を除く)。
※届出対象物質のみ記載しています。

エネルギー使用の状況

オカムラグループのエネルギー投入量の内訳は、電力が65%、続いてLPGが16%、都市ガスが14%となっています。

エネルギー投入量の大半を占める電力は2007年度比で636万kWh、率にして10%の削減となりました。これは事業所における生産性の改善、設備の省エネ改善、および生産減などが主な要因です。関西岡村製作所では不用照明



エリアの確認及び照明の取外しを実施し、前年比18%の電力使用量削減を達成、グループ目標の達成に大きく貢献しています。またLPGは2007年度比で442t、率にして13%の削減となりました。これはエヌエスオカムラでの設備の省エネ改善、および生産減が主な要因です。

化学物質の管理状況

PRTR対象物質取り扱い量は、2000年度比40%という目標に対して、2008年度の取扱量は150tとなり、2000年度比で370t削減、2000年度比で29%となり目標を達成しました。大気および水域への排出量は上記のとおりです。

環境活動・社会活動のあゆみ

オカムラグループの環境活動・社会活動のあゆみをご紹介します。

オカムラグループ環境活動・社会活動のあゆみ

年	環境対策	コミュニケーション、評価、表彰	事業活動
1945年 ～ 1992年	<ul style="list-style-type: none"> ●日本初パーティクルボード製家具[1966年] ●公害対策および設備部組織化[1966年] ●商品開発研究所設立[1972年] ●オフィス研究所設立[1980年] ●イスのノンフロン化[1990年] ●製品の環境対策方針策定[1991年] ●リサイクルカー導入[1992年] ●接着剤リソクロエタン廃止[1992年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●人間工学「イスの科学」発表[1960年] ●折りたたみイス：初のGマーク受賞[1963年] ●Gマーク業界最多受賞[1967年] ●追浜工場「工業技術院長賞」受賞[1969年] ●JAPAN SHOP展「通産大臣賞」受賞、以降「総理大臣賞」等14年連続受賞[1980年] ●日本科学技術連盟より「第12回石川賞」受賞[1980年] ●高島工場「省エネルギー通産大臣賞」受賞[1981年] ●「第2回OA本賞」受賞[1984年] ●高島工場「日本緑化協会会長賞」受賞[1984年] ●標準化：効率化で「通産大臣賞」受賞[1984年] ●JR新宿駅サイン：SDA大賞(通産大臣賞)受賞[1989年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●岡村製作所創業(横浜市磯子区岡村町)[1945年10月] ●「ミカサ」自動車開発[1955年] ●IBM-407(PCS)導入、事務作業の機械化[1960年] ●米国L.A.ダーリン社と技術提携[1963年] ●岡村工業技術学校：横浜質市追浜に設立[1967年] ●IBM-370(COPICS)導入[1973年] ●ロータリーラックを米国に技術輸出[1982年] ●ジェイティオカムラ設立[1988年] ●サイアムオカムラスチール設立(タイ)[1988年] ●エヌエスオカムラ設立[1992年]
第1次環境 中期計画 1993年4月 ～ 1997年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●第1次環境中期計画「豊かな未来へ」スタート[1993年] ●中井事業所：環境アセスメント[1996年] ●グリーン購入ネットワーク加入[1996年] ●環境対策部発足[1996年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境パンフレット「豊かな未来へ」発行[1995年] ●「Gマーク部門賞 外国商品賞」受賞[1995年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●オカムラビジネスサポート設立[1994年]
第2次環境 中期計画 1997年4月 ～ 2000年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●追浜事業所：ISO14001審査登録[1997年9月] ●「グリーン購入ガイド」発行[1998年6月] ●「1999環境報告書」発行[1999年9月] ●環境経営度調査：第97位[1997年]、第105位[1998年]、第38位[1999年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●つくば事業所「OAオフィス賞」受賞[1997年] ●「グリーン購入ガイド」発行[1998年6月] ●「1999環境報告書」発行[1999年9月] ●環境経営度調査：第97位[1997年]、第105位[1998年]、第38位[1999年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●中井事業所稼働開始[1997年] ●エフエムソリューション設立[1998年] ●オカムラサポートアンドサービス設立[1999年]
第3次環境 中期計画 2000年4月 ～ 2003年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●オカムラ：ISO14001全社統合審査登録[2000年10月] ●環境対策部を環境・品質保証部に組織変更[2001年4月] ●国内全生産事業所のISO14001審査登録完了[2001年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●「Gマーク部門別金賞」受賞[2000年] ●「2000環境報告書」発行[2000年9月] ●「2001環境報告書」発行[2001年9月] ●「2001環境報告書」が「第5回環境レポート大賞」優秀賞受賞[2001年12月] ●「2002環境報告書」発行[2002年8月] ●リターンブル輸送パッケージが「アジアスター賞」受賞[2002年12月] ●環境経営度調査：第123位[2000年]、第66位[2001年]、第48位[2002年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビル・インターナショナル設立[2000年] ●第1回JAPANドラッグストアショーに出展[2001年] ●エルゴノミックメッシュチェア「コンテッサ」シリーズ発表[2002年] ●エルゴノミックメッシュチェア「コンテッサ」海外輸出開始[2002年] ●ORGATEC 2002に出展[2002年]
第4次環境 中期計画 2003年4月 ～ 2006年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●環境長期計画「GREEN WAVE 2010」スタート[2003年4月] ●オカムラ全生産事業所でゼロエミッション達成[2003年] ●粉体塗装ライン導入開始[2003年] ●御殿場事業所・関西岡村製作所：HCFC-141b全廃[2004年] ●環境・品質保証部を環境対策部に組織変更[2004年12月] ●サイアムオカムラスチール：ISO14001審査登録[2006年2月] 	<ul style="list-style-type: none"> ●「2002環境報告書」が「第6回環境報告書賞」優良賞受賞[2003年5月] ●「2003環境報告書」発行[2003年7月] ●ダイジェスト版発行開始[2003年7月] ●「2004環境報告書」発行[2004年6月] ●「コンテッサ」が「IDEA2004金賞」受賞[2004年6月] ●「2005環境報告書」発行[2005年6月] ●関西支社が国土交通省「道路愛護団体表彰」受賞[2005年6月] ●「パロン」が「IFデザイン賞」受賞[2005年2月] ●「パロン」が「クルーズ&アトラス」が「レッドドット賞」受賞[2005年3月] ●環境経営度調査：第71位[2003年]、第67位[2004年]、第104位[2005年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●「コンテッサ」が米国環境基準「GREENGUARD」取得[2003年6月] ●CeMAT ASIA 2003 物流技術と運輸システムの展示会に出展[2003年11月] ●EIMU 2004 ミラノ国際オフィス家具見本市に出展[2004年4月] ●上海岡村家具物流設備有限公司設立[2004年6月] ●ジェイティオカムラを山陽オカムラに社名変更し子会社化[2004年9月] ●ORGATEC 2004に出展[2004年10月] ●「オフィス進化論」出版[2005年5月] ●シーダー(株)を子会社化[2005年5月] ●創立60周年記念グレンミラーオーケストラコンサート開催[2005年12月]
第5次環境 中期計画 2006年4月 ～ 2009年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●木質材のグリーン購入法調達基準改訂に対応し、JOFIFA(日本オフィス家具協会)より事業者認定を取得[2006年9月] ●つくば事業所：焼却炉撤去[2007年1月] ●追浜事業所：焼却炉撤去[2007年2月] ●つくば事業所：主要燃料をLPGから都市ガスに切り替え[2007年2月] ●追浜事業所：メッキ設備解体、土壌浄化[2007年3月] ●3製品が新たにグリーンガード認定取得[2007年12月] ●「コンテッサ」「パロン」RoHS指令対応製品として生産切り替え開始[2008年1月] ●横浜物流センターでゼロエミッションを達成[2008年9月] 	<ul style="list-style-type: none"> ●「2005環境報告書」が「9回環境報告書賞」優良賞受賞[2006年5月] ●「コンテッサ」「パロン」が「エルゴノミックエクセレンスアワード」認定[2007年1月] ●「2006環境報告書」が「第10回環境コミュニケーション大賞」環境報告優秀賞を受賞[2007年2月] ●「CSRレポート2007」が「2008日本BtoB広告賞」アニュアル・CSR環境報告の部 佳作を受賞[2008年1月] ●平成20年度特許庁「知財功労賞」経済産業大臣表彰を受賞[2008年4月] ●新製品発表会で「オフィスのエコ」を提案[2008年11月] ●情報システム部が「横浜環境活動賞」を受賞[2009年4月] ●環境経営度調査：95位[2006年]、133位[2007年]、71位[2008年] 	<ul style="list-style-type: none"> ●鶴見事業所着工[2006年3月] ●全社員参加の創立60周年記念式典開催[2006年7月] ●ORGATEC 2006に出展[2006年10月] ●オフィスシーティング「ヴィスコンテ」シリーズ発表[2006年11月] ●鶴見事業所竣工[2006年12月] ●2007スーパーマーケットトレードショー出展[2007年2月] ●「内部統制時代の文書・情報マネジメント」出版[2007年3月] ●「オフィスと人のよい関係—オフィスを変える50のヒント」を出版[2007年10月] ●「Neocon 2008」に出展[2008年6月] ●「オカムラ いすの博物館」を開設[2009年2月]

生産事業所・主要グループ企業の環境管理データ2008年度

2008年度のおカムラ生産事業所、生産関係会社の環境管理データをご紹介します。

事業所/主要関係会社名	生産事業所					関係会社						
	追浜事業所	高島事業所	つくば事業所	富士・御殿場事業所	中井事業所	関西岡村製作所	エヌエスオカムラ	山陽オカムラ	シーダー	サイアムオカムラスチール	オカムラ物流	オカムラサポートサービス
所在地	神奈川県横須賀市浦郷町5-2944-1	山形県東陽郡高島町大字糠野目字北原五-2635	茨城県つくば市緑ヶ原1-2-2 テクノパーク豊里工業団地	静岡県御殿場市大坂102-1 静岡県御殿場市柴怒田キタ744	神奈川県足柄上郡中井町境390	大阪府東大阪市稲田上町2-8-63	岩手県釜石港町2-1-1	岡山県高梁市間之町1	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-2-17	51-5Poochao RD.Bangyaparak Bangkok 10130 Thailand	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-4-3	東京都港区赤坂1-8-10 第9興和ビル
土地(m ²)	56,352	114,459	99,457	138,275	53,890	23,853	35,494	36,098	11,411	11,108	43,969	—
建物(延床面積)(m ²)	52,404	27,278	37,621	68,313	35,388	30,730	26,773	28,166	22,484	12,117	77,254	—
緑化面積(m ²)/緑化率(%)	3,492/6.2	45,401/39.7	41,718/42.0	31,604/22.9	20,128/37.4	2,210/9.3	9,230/26.0	6,599/23.0	0/0	181/1.2	6,644/15.1	—/—
主要生産品目	オフィス環境什器、流体変速機	オフィス環境什器(木質系)、商業施設用什器	オフィス環境什器、商業施設用什器	店舗用陳列機器等、冷凍冷蔵ショーケース	店舗用陳列機器	オフィス環境什器	物品管理棚、オフィス環境什器	オフィス環境什器、店舗用陳列機器	搬送コンベヤシステム	オフィス環境什器、商業施設用什器	輸送、保管、荷役、流通、加工、施工、内装工事	据付工事、保守、アフターサービス

環境パフォーマンス

項目	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
総エネルギー投入量	GJ	122,039	38,561	86,347	222,362	44,235	124,257	65,654	50,674	3,075	52,133	49,415	2,081
水													
水資源投入量*	m ³	18,525	12,887	20,083	131,174	3,481	45,827	43,379	29,789	763	40,917	5,297	41
雨水投入量	m ³	—	—	—	—	1,724	—	—	—	—	—	—	—
節水システムによる節水量	m ³	1,938	—	6,458	33,675	17,631	10,317	—	—	—	—	—	—
総排水量	m ³	14,609	12,887	18,878	128,283	301	36,481	37,172	17,638	—	39,244	5,297	41
大気													
温室効果ガス排出量*	t-CO ₂	5,003	1,499	3,678	10,677	1,935	5,406	3,220	2,499	126	2,337	1,990	112
オゾン層破壊物質排出量	ODP-kg	—	—	—	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—
SOx排出量	t	0.003	1.10	—	—	—	—	0.19	3.84	—	0.00	—	—
NOx排出量	t	0.025	7.55	1.35	—	0.24	0.77	3.28	2.37	—	0.00	—	—
廃棄物													
再資源化量	t	2,994	483	1,459	4,505	1,891	1,657	1,345	573	—	25	5,551	355
最終処分量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	948	2,338	4
PRTR対象物質													
取扱量	kg	21,272	1,705	12,257	97,390	—	3,494	1,306	12,853	—	—	—	—
大気への排出量	kg	20,559	1,778	13,852	96,286	—	724	—	9,700	—	—	—	—
トルエン	kg	554	—	79	43,977	—	80	—	1,100	—	—	—	—
キシレン	kg	12,741	—	5,684	28,259	—	139	—	5,700	—	—	—	—
その他	kg	7,264	1,279	3,432	20,049	—	505	—	2,900	—	—	—	—
公共用水域への排出量	kg	—	—	—	—	—	—	120	—	—	—	—	—
下水道への移動量	kg	—	—	—	—	—	76	—	—	—	—	—	—
廃棄物への移動量	kg	713	426	612	5,025	—	1,196	602	700	—	—	—	—
悪臭の発生状況													
キシレン	ppm	<0.1	—	<0.1	<0.1	—	—	—	—	—	20	—	—
イソブタノール	ppm	—	—	<0.1	<0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
酢酸エチル	ppm	—	—	<0.1	<0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
トルエン	ppm	<1.0	—	<0.1	<0.1	—	—	—	—	—	45	—	—
スチレン	ppm	—	—	<0.1	<0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
エチルベンゼン	ppm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臭気指数		<10.0	11	—	—	19	—	10	—	—	—	—	—
水域*													
BODの排出量	t	0.06	4.60	0.57	0.15	301.00	1.69	0.14	—	—	0.26	—	—
CODの排出量	t	0.20	—	—	—	—	—	0.23	—	—	1.35	—	—
窒素の排出量	t	0.04	—	—	0.23	—	—	0.27	0.02	—	—	—	—
リンの排出量	t	0.0210	—	—	0.0400	—	—	0.0663	0.0016	—	—	—	—

*CO₂排出量は環境目標との整合のため、改正前の温対法施行令の係数で算定しており、一部サイトでは、温対法により公表されるCO₂排出量と異なっています。
 *PRTR対象物質の土壌への排出および事業所における埋立処分はありませんでした。
 *資材等における対象物質の含有量が0.1~1%等の報告の場合、1%として計算しています。
 *水資源投入量は上水・工業用水・地下水の合計です。
 *水域への排出量において、富士・御殿場、エヌエスオカムラ、山陽オカムラは公共水域への排水を含みます。

主な法規制対応

項目	単位	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値	規制値	実測値		
大気																							
SOx排出濃度	m ³ N/h	0.1	0.0	11.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	0.0	13.5	0.6	—	—	1,900.0	65.0	—	—
NOx排出濃度	ppm	230	25	600	251	360	20	—	—	230	21	150	60	690	243	490	145	—	—	400	100	—	—
ばいじんの排出濃度	g/m ³ N	0.1	0.0	0.6	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1,680.0	27.9	0.0	0.0
騒音																							
大きさ(昼間/朝夕/夜間)	dB	75/75/65	71/—/61	70/65/55	53/38/38	60/55/50	50/46/46	70/65/60	59/—/—	75/75/65	53/52/53	70/65/60	—	70/65/55	60/55/50	55/45/40	55/—/—	—	—	90/90/70	66/66/70	—	—
振動																							
大きさ(昼間/夜間)	dB	65/55	48/44	65/60	37/31	60/55	35/35	70/65	48/48	70/65	40/38	70/65	—	65/60	41/39	55/50	51/—	—	—	—	—	—	—

*規制値は法および自治体条例等によります。
 *実測値は最大値です。
 *規制値がなくて実測値を報告している項目は、自主的に測定しているものです。

*エヌエスオカムラのSOx排出濃度の規制値及び実測値はm³N/hで表記しています

*サイアムオカムラスチールの規制値及び実測値はppmで表記しています

—: 実績値なし、規制対象外を示します

